

平成28年度第2回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	平成28年10月31日(月)		
	開 会	午後5時20分	
	閉 会	午後7時35分	
2 場 所	さぬき市役所本庁第2委員会室		
3 出席者	市長	大山 茂樹	
	教育委員会	安藤 正倫	
		細川 哲士	
		徳田 二三男	
		日向 和加子	
		得丸 慶子	
		岡 裕子	
	欠席者	なし	
	事務局	総務部長	穴吹 靖昭
		予算調整室長	多田 千稔
		教育部長	間島 憲仁
		教育総務課長	中川 勝幸
		学校教育課長	谷 訓昌
		学校教育課主幹	山中 正治
生涯学習課長		間嶋 文一	
学校再編対策室長		石原 裕二	
幼保連携推進室長		富田 克美	
教育総務課副主幹		富田 和希	
教育総務課主査	佐藤 理絵		
その他説明等のため出席した者	なし		
4 会議に付した協議・調整事項	(1) 平成29年度に係る当初予算編成に向けた方針について		
5 特記事項	傍聴人2名		
6 会議内容	開 会		
教育部長	平成28年度第2回さぬき市総合教育会議を開会したいと思います。 開会に当たり、まず、市長から御挨拶をお願いします。		
市長	(挨拶)		
教育部長	続いて、教育委員会教育長から御挨拶をお願いします。		
教育長	(挨拶)		
協議・調整事項	協議・調整事項につ		
教育部長	さぬき市総合教育会議運営規程第3条の規定に基づき、協議・調整事項につ		

	いて、ここからの議事進行は、市長をお願いします。
市長	<p>では、定めに従い、次第に沿い、進めていきます。</p> <p>熱い議論をお願いします。</p> <p>平成29年度に係る当初予算編成に向けた方針について、概要説明をお願いします。</p>
予算調整室長	(平成29年度予算編成方針について、説明した。)
市長	<p>予算とは、入ってくるお金と、出ていくお金を調整する作業です。入ってくるお金というのは、地方自治をするための根幹である税金のことであり、例えば、個人住民税や固定資産税などの税金が主になります。また、国や県からの補助金や、様々な事業を実施する際に個人から負担してもらう使用料や手数料もあります。さらにもう一つ、さぬき市にとっては、地方交付税という制度があり、それは財源を補償して財源を調整する、つまり、国全体の富を富が少ないさぬき市にも少し渡しましょうということがあって、さぬき市全体の一般会計予算240億～250億円のうち、地方交付税は80億から90億円くらいになっており、非常に大きい割合を占めています。税金による収入が、合わせても50億～60億くらいなので、それ以上に国の交付税というのが、歳入面で大きな意味を持っています。また、いかに借金に頼っているかという実質公債費比率は、一時は黄色ランプが点灯しかけて、24%程度まで上昇していたものが、現在、市民の皆さんや職員の協力を得て、13.5%まで減少しています。これは、非常に健全化が進んだと誤解されがちですが、県内8市9町の中では、一番高い数値です。その意味では、まだまだ財政健全化は、道半ばです。また、将来負担比率がマイナス25.3%とあるのは、将来にわたって黒字という意味で、これを新聞などはさぬき市が黒字に転換したと報道したので、他の首長からは冷やかされましたが、これは数字上のことで、あまり当てになる数値ではありません。</p> <p>そこで、平成29年度当初予算編成の中で一番大事なことは、約17億円の一般財源が足りないという試算になっていることです。この17億円をどこから持ってくるかについては、財政調整基金と臨時財政対策債を活用することになりますが、その二つを持ってきても、まだ数億円が不足する予測です。そこで、各部局から来年度当初予算として要求されているものの中から、急がないものや、もう少し縮小したらいいものを調整し、予算を作るということになります。ただ、一般財源が不足する中であっても、予算編成方針の基本方針に関係のある事業は、一つずつやっていくことが大切です。教育委員会に関する項目としては、教育施設の整備をはじめとする教育と文化の振興、優れた歴史遺産や自然環境を活用した人が交流するまちづくりの推進及び学校の子どもたちを中心とした災害に強いまちづくりの推進が挙げられます。</p> <p>地方交付税が命綱のようにになっているさぬき市の現状で、もし地方交付税が廃止されたら、さぬき市は、とたんにやっていけなくなります。しかし、どのような状況下でも、やらなければならないものは、確実にやらなければならないのです。ここまで言うと、言いたいことが半分も言えなくなるかもしれませんが、まず、来年度に向けて、教育委員会の委員として、取組を期待している</p>

	ことについて、一人ずつ意見を聴かせてください。
<b>教育委員</b>	<p>1点目は、教職員の負担軽減を図るためにも、事務員、支援員及びスクールソーシャルワーカーに関する予算は、更なる充実を希望しています。各種事務や保護者対応などをフォローしてくれる事務員の配置を充実することで、教職員が、今以上に子どもたちと接する時間が増えると思います。</p> <p>2点目は、給付型の奨学金を検討し、将来、子どもたちがさぬき市に戻ってきてくれるような制度を考えてはどうですか。将来的にさぬき市に戻ってきて、住民税をいくらか払ったら奨学金を返済しなくてもよいといった特典付きの奨学金制度があれば、優秀な人材確保にもつながり、さぬき市に戻って来て、さぬき市で仕事をして、税金を納めてくれるという流れができるのではないかと思います。制度の全てとは言いませんが、給付型の奨学金があってもよいのではないかと思います。</p>
<b>市長</b>	今の話の中で、教職員の負担を軽減するために、スクールソーシャルワーカーや様々な支援員がありますが、特にこの職種を増やしてほしいとか、少なくともこの職種の削減はやめてほしいという何か具体的なものはありますか。
<b>教育委員</b>	特別支援教育支援員です。
<b>市長</b>	<p>子どもたちにきめ細やかな対応を行うために、特に充実が必要なのですね。</p> <p>奨学金制度の見直しについては、教育委員会の中でも議論が進められていることは承知しており、このうち、まずは返還額の1月当たりの負担を半分にするといった見直しから検討したいと考え、事務的な協議をしているところです。このことについては、何かお考えはありますか。</p>
<b>教育委員</b>	そのことを踏まえた上で、さらに、特に優秀な人材が経済的な理由で望む進学を断念しないよう、そして、その人材がさぬき市に戻ってくるきっかけとなるようなユニークな仕組みができれば良いのではないかと思います。
<b>市長</b>	分かりました。また後ほど、議論させてください。
<b>教育委員</b>	<p>事務局が要求している予算資料を確認し、どれも削ってはいけないと思いました。そこで、歳出削減を考えるのではなくて、ふるさと納税や企業誘致の推進などで歳入増加策をもっと考えなくてはいけないのではないかと感じています。そして、子どもたちに関わる、教育に関わることはどんどんやっていただきたいと思います。</p> <p>さて、私が期待しているのは、ふるさと教育に、まだ知られざるさぬき市の偉人を学ぶ取組を取り入れることです。さぬき市には、まだまだ知られていない偉人がたくさんいます。私が関わるまち歩きツアーの中で「知られざるさぬき市の偉人」をテーマとし、「一步先行くさぬき市の偉人巡り」を、今年の秋に実施しました。市内5地区それぞれに偉人がいるので、5地区全てを回って、偉人を紹介しようというツアーです。志度地区は、平賀源内先生が広く知られていますが、末地区にある霊芝寺に、水戸から来た松平頼常公と松平頼恕公の墓があることは、ほとんど知られていません。また、寒川地区の応用物理学の父と呼ばれる真島正市さんのこともほとんど知られていません。子どもたちに、自分のふるさとにはすごい偉人がいたということを広く知らせたいと</p>

	<p>思っています。</p> <p>また、学校での楽器不足のことが気になっています。特に、志度中学校と長尾中学校では、楽器が不足しています。このことに対しては、寄附などを募れば、賛同してくれる団体があるのではないかと思います。そのような団体をお願いするなどして、是非、楽器を揃えてあげたいところです。</p>
市長	<p>かつては、身の丈に合った予算といった収入に応じた支出を組み、そのことが財政健全化につながると考えてきましたが、最近それが少しずつ変わり、予算というものは元々、歳入がありきなのではなく、歳出ありきなのではないかと考えるようになってきました。必要な何かをするために、必要なお金を集めるというのが、物事の順序ではないかということです。例えば、現実的な方策ではありませんが、市民から住民税をプラス1000円ずつ頂き、それを財源として、そうしてでも市民が必要とすることを実施するということが、これからは大事になり、天から降ってくるお金ばかりをあてにして、その中でしか歳出が組めないという市町村は、発展しにくいのではないかと思います。</p> <p>そこで、歳入を確保する方法について、何かアイデアはありませんか。</p>
教育委員	<p>これからのさぬき市を背負って立つ子どもたちのためであれば、基金を募れば出資してもらえらる団体があると思います。</p>
市長	<p>民間の有志の方に呼び掛けて、子どものための、学校教育のための基金を検討するということですね。</p> <p>また、ふるさと教育の意見については、そのテキストの作成費用や、現地を訪問するバス代などを、ふるさと教育推進事業の予算の中に含めるという意味で良いですか。</p>
教育委員	<p>そうです。雨滝自然科学館のことも是非取り組むべきだと思いますが、例えば隔年でもよいので、偉人に関することも取り組みたいです。</p>
市長	<p>一方で、授業時間数が足りないという話があり、他のことに時間を割くと、逆に学力の向上のための時間が足りなくなるという議論も起こり得ます。そのことについては、教育委員会内で議論していただくとして、そのような中であっても、特にこれは行いたいということがあれば、予算面での対応については、それほど難しいことではないと思います。</p>
教育委員	<p>まず、本日は一番言いたかったのは、神前小学校と石田小学校の統合小学校整備事業についてです。統合小学校は、旧天王中学校の跡地に整備されることで話が進んでいます。このことについて、校舎等の整備に関し、耐震化されている教室はそのまま、管理棟は建て替えるなど、そのような整備方針に対しては十分理解していますが、地形的に、やはり安全対策が気になっています。住民からの目が届きにくい場所に立地しているという点や施設の配置を見ると、子どもたちが安全に教育を受けられる「小学校」の施設として機能するかどうか、少なからず危惧するところがあります。例えば、プールについては、小学校では25mプールを使用するので、既存の50mプールを小さく変更することですが、既存のプール場所は、校舎から非常に離れており、管理棟からも目に付きにくいことや、管理棟よりも敷地の入口に近い場所にあることも、</p>

	<p>不審者の侵入を考えたときに気掛かりです。また、旧天王中学校の敷地には、誰もが通行する公衆の道路があることや、教室からグラウンドに出る動線上に駐車場や給食運搬車の通行ルートがあり、事故等の危険性も他の学校に比べて高くなることが懸念されます。</p> <p>いずれにしても、予算のことだけが理由で、統合前の学校にはあったのに統合後の学校にはないとか、市内の他の学校にはある機能が、この学校にはそこまでの機能がないというのは、住民の一人として少し不公平ではないかと思ひ、教育委員としても何とか避けたいところです。また、他の学校に引けを取らない学校を整備したいと思っています。単に既存の施設をリメイクしただけの学校であるとか、予算がないだけが理由でこの場所に統合しただけと思われるような学校には絶対にしたくないので、統合小学校の整備事業だけは、削減の対象にならないようにお願いします。</p>
<p><b>市長</b></p>	<p>予算がないから、ある程度の校舎でいいとは思っていません。ただ、使えるものは使えばよいと思います。非常に心配されている安全対策については、例えば、防犯カメラの設置や、外部の車の進入は、必ず目に付くような場所からしか入れなくするというソフト面での充実で対応が可能ではないかと思ひます。また、現在進めている統合場所には一定のリスクがあることも事実ですが、これまでの議論では、そのリスクやデメリットよりも、メリットがあるのではないかという話になったと認識しています。他の学校にないけれど今度の統合小学校にはあるというものが、私にはあると思ひます。今回、「天王が丘」に小学校を置いたことのメリットを最大限に生かし、他の学校にはない特徴として、発想を転換することが可能ではないかと思ひます。私は、小学校というのは、全て同じでなければならないとは思いません。ただ、最低限の安全性は等しく確保しなければならないので、今後、教育委員会としっかり協議し、特に安全面については配慮します。今は木が茂り、何となく鬱そうとしていることが、気持ちの上で不安感を与えていることは聞いています。それをどうするかについては、今は、これからの細部の検討の中で考えるとしか申し上げられません。安全性を確保してほしいというのはよく分かりました。</p> <p>また、プールについても、そもそも小学生にとっては使いやすい位置にないことは理解しています。そこで私は、極論ですが、教育委員会事務局の職員に、プールを無くし、送迎を確保するのでB&amp;Gプールを利用すればどうかと提案しましたが、小学校にプールがなければ、子どもの教育はできないとの説明を受けました。そのことを踏まえ、さらに、できるだけ使えるものは使うという考えに基づき、既存のプールを改修して整備するとの話になったものです。</p> <p>安全対策は、最低限の話なので、一つでも二つでも、今から追加できるものは、更に取り入れていきたいと思ひます。</p> <p>また後で、全体の議論の中で意見を聴かせてください。</p>
<p><b>教育委員</b></p>	<p>市長の話から、やはり予算事情は厳しいと感じました。その中でも優先順位を付けて事業に取り組むことは、非常に大切ではないかと思ひます。</p> <p>私は、教育委員として2点提案します。</p>

	<p>1点目は、今の課題として、若い先生をいかに育てるか、指導力を付けるかということが課題だと思います。そのためには、校内研修を充実させることが大切です。校内で研修をする指導者については、管理職が担当するというのも大事ですが、やはり限界があったり、遠慮があったりするので、外部講師に依頼して指導してもらうのが良いと思います。そうすると、講師の謝金や旅費といったものが必要になるので、もし、そういう研修を希望する学校があれば、是非とも配慮してほしいです。もちろん、若い先生方が自主的に研修を企画し、会費を出してでも研修をしたいということになれば理想的ですが、最初は、呼び水として行政が助成をすることも効果があると思います。また、公益財団法人などでも助成金制度を行っていますが、そのことを現場の先生方が知らないことがあるので、行政がいかに情報提供を行い、呼び掛けていくことも大切です。</p> <p>2点目が、津田古墳群のことです。これは、さぬき市だけの財産だけでなく、日本の財産でもあり、世界の財産でもあります。しかし、子どもたちや地域の方が学習する機会がなかなかないので、旧鶴羽小学校を活用してビジターセンターを整備し、時代ごとに一教室ずつ展示を行い、子どもたちが学習する場にしてはどうでしょうか。ただ展示するだけでは、津田古墳群がどんな位置にあるのか、また、大きさや形も分からないので、子どもたちが分かりやすいような資料を揃えることも必要です。予算的なことがあるので、当面は出土したものを展示しながら、段階的に整備していくのも良いと思います。</p>
<p><b>市長</b></p>	<p>若い先生の育成については、市の職員も同様で、若い職員をいかに市民のニーズに応えられるように教育していくかという職員の資質向上は、非常に大事なことであり、助成金制度があるのなら、うまく活用すればよいと思います。また、退職後まだまだ元気な先輩職員に、昔の話をしていただくのも一つの策です。</p> <p>旧鶴羽小学校を活用したビジターセンター整備の件は、現在、計画を作っているところです。一度には難しいかもしれませんが、これは必要度の高いものから少しずつ作って行って、足したり引いたりしながら、せっかく鶴部の古墳が近くにあるので活用していきたいです。ただ、手戻りがないように進めたいと思います。</p> <p>また、旧鶴羽小学校で心配なのは、海辺にあることです。希少性が高いものは、例えば、高台にある歴史民俗資料館に置くようにするなど、少し区別をしなければならぬのではないかと思います。一般的に図表やミニチュアのようなものは、流されても対応できるが、本物は高台へ置いておくということを、計画の中で考えてはどうかと提案しています。</p>
<p><b>教育委員</b></p>	<p>よろしくお願いします。</p>
<p><b>教育委員</b></p>	<p>私は、大きい項目で3点あります。</p> <p>まず1点目は、今の教育は、チョークと教科書・ノートの時代からICTの時代に移っているので、是非学校へのICT機器の整備を計画的に進めていただけたら有り難いです。</p> <p>2点目は、就学前の子どもの育ちを確かなものにするために、小さい子ども</p>

	<p>の教育ほど、マンパワーが必要になると思います。例えば、今年、嘱託園長のところに事務処理を補佐する職員を配置していますが、非常に好評という声を聞いています。また、発達障害の子どもに対応するための生活補助員についても、欠かせない存在です。さらに、預かり保育で私が非常に残念なのは、3歳児の預かり保育ができないということです。3歳児で預かり保育があれば、幼稚園に行かせようと思っている保護者もいるのではないかと推測しています。</p> <p>3点目は、いじめなどの問題行動の未然防止について、相談体制の整備は、ずっと継続してもらっていますが、スクールソーシャルワーカーや先生方が協力し合い、チームとして学校を運営していくことが重要だと思いますので、引き続きスクールソーシャルワーカーの継続配置について予算の確保をお願いします。</p> <p>最後にお礼ですが、ALTの増員をしていただき、ありがとうございました。各中学校に1名ずつ配置されたので、その校区の英語教育の充実が図れるものと、今後も期待しています。</p>
市長	<p>私の年代では、ノートや板書を一生懸命書くことで、文章を要領よく書く訓練になったと思っています。しかし、今はそう思わない人が多くなってきました。価値観が変わってきているのでしょうか。これからは、語学とITの操作と、会計学が大切だと私は感じています。難しい会計学でなくていいですが、どんぶり勘定ではなくて、経済的なバランスシートが分かるような人が、公務員にも求められていると思います。単純に単年度予算が組めて、歳出と歳入が一緒だったら良かったというのではなくて、要するに、貸借対照表的な視点でものを見るというのが重要です。そして、母国語以外に少なくとも一つの外国語を使いこなせるようになることと、それから、IT関係の機器を巧みに操れることも大事です。そういう意味では、ICTを整備するのは良いと思います。ただ、そういったIT機器は、何年か経つとすぐ様変わりをして、前のものをずっと使い続けるのが難しいらしいので、もう少し年次計画で推進していきたいと考えています。</p> <p>それと、預かり保育の3歳児については、現状としてさぬき市では受け入れていないということですね。</p>
幼保連携推進室長	<p>そうです。</p> <p>3歳児の預かり保育を受け入れることによって、幼稚園に入園する園児は増えると思います。</p>
市長	<p>それは、今の体制では、教諭の人数などの問題があり、受け入れができないということですか。</p>
幼保連携推進室長	<p>現状では、部屋が足りないということと、預かり保育を専門とする指導員を配置することが難しく、指導員が不足しています。</p> <p>また、仮に3歳児を受け入れることによって、教諭が不足する可能性もあります。</p>
市長	<p>これから幼保連携型認定こども園が整備されると、保育所と幼稚園とはだんだんと寄っていくと思いますが、現実的に、保育所は保育所、幼稚園は幼稚園</p>

	<p>で残ると思います。認定こども園の中でも、保育所と幼稚園が1本化されるが、サービスを受ける側が異なるので、保育所的サービスを受ける人と保育所に行く人が受けるサービスが同じでないと不均衡になり、幼稚園的サービスを受ける人は、他の幼稚園と同じようなサービスを受けられなければいけません。さぬき市でも、幼保連携型認定こども園を津田地区で計画しているところで、その整備までに、料金体系を整理し、その際、保育料や幼稚園授業料が引き下げられるのであれば、少しでも負担を軽減し、子育て支援を厚くしてはどうかという議論をしています。預かり保育については、全体の保育所と幼稚園の役割分担の中で、もう一度考えてみます。</p> <p>また、いじめの問題についてです。私の考えとして、やる気さえあれば学力というのはいつでも取り戻せますが、いじめを受けた心の傷やいじめを受けて自殺することは、一生取り戻せるものではありません。だからこそ、本当はいじめ問題に、もっと注意を向けないといけないのですが、自己責任論があって、いじめというのは、いじめられる人にも責任があるのではないかという考えが、残念ながらまだ世間にあります。しかし、大抵の子どもは、そんな状態ではないはずで。いじめというのを聞くと、本当に心が痛みます。どうしたらいいのかというのは、正解がないものなのだと思います。一人ずつ違うのです。一人ずつ違うことについて、さぬき市の教育大綱の中でも多様性をうたっているのは、そのことなのです。学力も、対人間関係も一人ひとり違うので、先生でも、親でも、地域の人でも誰でも対応できるような地域社会を作らない限り、本当の未来はないのではないのでしょうか。いじめの問題については、具体的な方法として何かアイデアがあれば、全力で取り組みます。取返しが付かないということになってはいけないので、最優先の課題だと思っています。</p> <p>それでは教育長、総括でお願いします。</p>
<p><b>教育長</b></p>	<p>事務局各課で、今後のさぬき市のことを考えて予算立てしているのですが、全てを通していただければ有り難いと思っています。</p> <p>その中でも、例えば、市内の学校には、職員室が非常に狭い学校があります。それは、職員室内に、これほどのパソコンやプリンタなどの事務機器類を設置するようになることを、建設時には想定していなかったものです。箱物というのは、1度建設すると、その後ではどうしようもできないことがあります。今回の神前小と石田小との統合小学校についても同じで、その整備に当たっては、将来に禍根を残すことがあってはいけないと思うので、今後、どうすることが一番有効で適切なのか、先を見越した施設づくりを考えていただきたいです。</p> <p>もう1点は、小学校における英語教育について、平成30年度からの前倒しの実施を香川県全体で取り組むようになりました。このための英語教育の支援者を確保したいと考えています。大学を卒業して何十年も経った教員に、今更英語の研修といっても難しいので、例えば、ALTは中学校に特化させ、小学校については、地域の中から教員免許は持っていないものの英語に堪能な人を探し、その人を講師や支援員に任命してはどうかと考えています。英語教育の</p>



	<p>推進は、日本全体で取り組むものとして法的にも位置付けられており、英語教育環境の整備についても、確実に取り組んでいきたいです。</p> <p>更にもう1点は、先ほど話にあったふるさと学習です。これは、必ずさぬき市を愛する心の根源になるのではないかと考えています。現在、教育委員会にはスクールバスが数台あり、そのスクールバスをうまく活用して、現地に出向き、直接本物を見るという体験に使えないかと思っています。そのルーツが明らかになりつつある津田古墳群、富田茶臼山古墳や長尾の古墳などをふるさと教育に取り入れ、自分が育った場所は、このような歴史の上に立った市であるということ学ぶことによって、さぬき市を愛する心の基盤になるのではないかと考えています。</p> <p>そして、各委員からも様々意見が出されましたが、私も教育長として身の引き締まる思いで、背筋を伸ばして聞いていたところです。</p>
市長	<p>皆さんの思いは、よく分かりました。</p> <p>ところで、統合小学校整備に関して、例えば、学校の教室と教室の間の壁を、移動式パーテーションにしたのでは、一方の授業の音がもう一方の教室まで響くということはないですか。</p>
学校再編対策室長	<p>授業に支障が出てきますし、単価的に高くなるかもしれません。</p>
市長	<p>今は、単価のことは考えなくても構いません。</p> <p>今設置している教室が、10年後に全て必要かといえ、そうではないと思います。10年後に、今より子どもが増えることは、まずないでしょう。子どもを減らないようにするのが、多分精一杯だと思います。教室のように大きさが決まっていて、それを固定してしまったら、後の使い勝手が悪いと思います。せめて、簡易な壁のようなもので、取り壊そうと思えば取り壊せる壁について、研究してみてもよいですね。まずは子どもの教室が大事で、それを整備し、放課後児童クラブをできるだけ学校でするとなると、そういう壁を動かして利用し、空き教室が増えてきたら、最後に職員室を拡張させるという順番を考えていますが、どうでしょうか。</p>
教育委員	<p>隣の教室との境目が移動できる壁になった学校は、私が知っている範囲では見たことがありません。ただ、津田小学校がそうだと思いますが、廊下との間仕切りをしている学校はあると思います。</p>
教育委員	<p>強度の問題もあるのではないですか。</p>
市長	<p>全ての壁を移動式にと言っているわけではありません。</p> <p>これからの学校という施設の使い方を、地域の中で、もう少し踏み込んで検討してもらいたいという気持ちがあります。まず、地域の人が学校を使うとなると、安全面とか保護者が不安がるということをお聞きしますが、もちろん誰でもというのではなく、例えば、地域の自治会長などが責任をもって学校の施設を使うということを想定して、何かもう少し踏み込んで学校施設の在り方を検討したものであれば、非常に学校に対してお金を出しやすいのです。学校は、学校だけしか使わないようなことを言われますが、税金で作る学校なのに、税金を払っている人がみんな学校と関係があるわけではないので、できるだけ</p>

	地域に応援者を作るというのは、大事だと思います。
教育委員	過去に、特別支援学級の教室が足りなくなって、仮の間仕切り壁を作ったというのはあったと思います。ただ、普通教室となると、子どもの掲示物が掲示できなくなるという問題もあります。
市長	<p>簡易な可動式の間仕切りを想定しているわけでは、ありません。生徒数の減少や他の需要が発生したときに壁を壊すとなると、経費も掛かり、後の見栄えもよくないので、最初から壊す前提の壁であれば、経費もそれほど掛からず、見た目もきれいに保てるのではないですか。そういうことも一つの方法ではないかと思うのです。そうすると、10年後に、場合によって、2つの教室を1つの教室として利用できるし、放課後児童クラブに利用することもできます。また、職員室をそこへ移動してもいいと思います。そういう目で、もう一度学校の建物を見てみると、何か変わった新しいことができる気がしています。</p> <p>天王中学校の跡地に統合小学校を整備することについて、地元では、いろいろと意見が出ているのですか。</p>
教育委員	<p>全ての年代の方から話を聞いたわけではありませんが、意見は出ています。数年前に、ある会合で、天王中学校の跡地に小学校を持ってきたらという話が出たことがあります。その時は、小学校に不審者が入ってきた事件が頭に浮かび、保護者としての第一印象で、それはあり得ないと思っていました。</p> <p>ですが、財政面や敷地の面から、現在の建設計画になったのでしょうか。</p>
市長	<p>財政面は、少し横に置き、本当にあの場所に小学校を設置して、明らかに誰が見てもセキュリティーが保てないのであれば、建てるのは中止します。ただ、教育委員会の中でも、セキュリティーはソフト面で解決できるという見解であると理解して、計画を進めています。</p>
教育委員	<p>私も、否定的に思っているのではなく、後から「ほら、見てごらん。」ということが起こらないようにしてほしいと思っているだけです。保護者の方や住民の方に、安全であることをきちんと話ができるようにしてほしいです。</p>
市長	<p>どこに建設しても、パーフェクトな安全は、保障できません。世の中のことだから、どこに作ってもリスクはあります。ただ、明らかに津波がきたら全部無くなってしまうような場所に学校は建てません。無料の土地があるからとか、予算が必要ないからといっても、それは絶対に建てないでしょう。それくらい私は、安全やいじめの問題は、学校にとって最も大事だと思っているので、防げるものは、絶対に防がないといけないという覚悟でいます。</p> <p>では、住民や保護者の皆さんがいろいろと感じられている一番の原因は、どこなのでしょう。山の上に登って通学するというのは、小学生には非常に酷だということですか。</p>
教育委員	<p>いいえ。私も実際に他の教育委員とも歩いて、小学生でも大丈夫だろうと確認しました。ただ、今までが中学校だったものを小学校として整備するということで、中学校であったとき以上に安全な対策を施す必要があるのではないかということです。</p>
市長	<p>外部から自由に出入りできるというのは、避けないといけません。例えば、</p>

	<p>入るのであれば、ICカードなどを持って、その人でなければ入れないとか、特定の人しか入れないような工夫は、たぶんできると思います。</p> <p>それでは、整備場所が問題なのでしょうか。</p>
教育委員	<p>私も、場所は好きです。寒川の方にとって、とても思い入れのある土地です。</p>
市長	<p>象徴的な場所ですよ。そのような場所だからこそふさわしいと、統合小学校の場所として選ばれたという理解をしていました。そんなに不安を抱いている方が多いのでしょうか。</p>
教育委員	<p>保護者の方の意見を聴くと、地元で育った方でない保護者も多く、今まで通っている小学校が平坦な所にあったので、木が鬱そうとしているあの場所に子どもたちを通わせるのは不安だという意見が聞かれました。</p>
市長	<p>都市部では、小高い所があまりないので、例がないのでしょうか。調べたことはありますか。</p>
教育委員	<p>94歳になる私の母に、天王中学校の跡地に統合された小学校が来るのだと話したら、「あんな周りにいっぱい木が生えている所に、学校を作るのか。」と私に言いました。母の印象では、木で周りがいっぱい囲まれて鬱そうとしている中に学校というのは、昔の人間にはイメージとしてありません。「木は伐採するよ。」と言っても、学校をイメージするのは難しかったようです。</p>
市長	<p>都会では、緑が必要だと言って、無理やり高いお金を使って、木を植えていますよね。木が多くあって不安というのは、見た目がなんとなく閉鎖的印象なのでしょうか。</p>
教育委員	<p>見渡せないという印象があるのではないですか。</p>
教育委員	<p>見晴らしは、すごく良いですよ。</p>
教育委員	<p>上から見渡すと、勉強する環境としてすごく良いと思います。</p>
市長	<p>そう言っていただくと、ちょっと気が楽になります。後付けのセキュリティで、工夫できる場所には確実に工夫をしていきます。</p> <p>それから、統合小学校のプールの話も出ましたが、どうなのでしょうか。</p>
教育委員	<p>志度小学校では、夏休みもプールを開放しています。夏休み期間中に子どもたちがプールを利用しているので、学校にプールがないと、B&amp;Gプールでということになるのでしょうか。子ども会でプールに行こうというときにも、志度小学校の場合は、学校のプールを使わせてもらっています。</p>
市長	<p>B&amp;Gプールは、中学校の授業でも利用することを踏まえ、今後、改修を予定しているところですが、現在の計画では、統合小学校のプールを50mから25mに変更するのに1億円近く掛かるはずなので、そのB&amp;Gプールを統合小学校の授業でも利用するのであれば、その改修経費を他の安全対策に回せるのではないかと考えたのです。</p>
教育委員	<p>中学校でのB&amp;Gプールの授業利用は、年にたった3回くらいしかありません。しかも、1時間ではなくて2時間くらいの枠を取り、それが1年間に3日間くらいしかないのです。一方、小学校では、頻繁に授業があり、前後の着替</p>

	<p>える時間を考えると、小学生をバスに乗せてプールに行き、更に着替えさせて帰ってくるとなると、実際にプールで泳げる時間がぐっと短くなるような気がします。だから、バスに乗せて小学生をB &amp; Gプールまで連れて行くというのは、すごく時間的にロスだと思います。</p>
市長	<p>時間的なロスや経費は置いといて、私が知りたいのは、小学校の教育上、自前のプールがないと小学校の教育ができないのかということです。</p> <p>例えば、山も海もあるのだから、ふるさと教育の一環として、必ず年に1度は、津田の松原や海水浴場へ行くとか、カッターをするとか、カヌーをするとか。そういうことは、学校現場としては管理上難しいのでしょうか。</p>
教育長	<p>安全管理上難しいと思われます。</p>
教育委員	<p>私は、小学校にはプールがあるべきだと思います。やはり、指導要領の中にも、水泳で何メートル泳げるようになるとか、そういう目当てがあるので、それは、教師として指導しなければいけないことです。海でもできないことはないとは思いますが、能率面や安全面や管理面から考えて、プールの方が良いのかなと思います。</p>
市長	<p>津田小学校は、津田の松原海水浴場の海開きで、みんな泳いでくれています。海に面した立地を生かして、海洋日本を精神的にも教えるという、そういう特徴を出してほしいという気がしています。逆に、山であれば、例えば、みろくの山のフィールドアスレチックのような所へ必ず行って、山で鍛えるのはどうでしょうか。どうも最近では、均質というか、同じような子を無難に育てるのが、優先されているような気がしています。</p>
教育委員	<p>小学校にプールが必要かということで、単純明解に返事をさせていただくと、私は必要だと思います。水泳指導の時間は、絶対に小学生には必要です。スイミングクラブに行っている子どもは、ほんの何%かの子どもで、小学校の間にプールで覚える泳ぎというのが、一生使う泳ぎになるので、非常に大事なものです。授業期間は、6月の初めくらいから7月中旬までです。その間に、先生方が一生懸命教えるのです。</p> <p>今回統合する小学校の場合には、時間さえうまく使えるのであれば、B &amp; Gプールに連れて行き、体育の水泳の授業をすることも可能かなと思います。45分で往復して、プールで教えるというのは不可能なので、45分の授業時間で2時間のコマの90分の中で送迎して、プールで指導するというのであればできるでしょう。ただ、90分を使うということは、週に3時間体育の時間があつたとすれば、そのうちの2時間はそれで消えるわけです。そのところをどう判断するのかということになります。また、さぬき市内で小学校に自前のプールがないというのは、前例がないです。</p>
市長	<p>プールはないけれど、泳いだら1番だとなれば、それこそ、自慢になると思います。</p>
教育委員	<p>地域の人や保護者からどのような声が出るか心配です。</p>
市長	<p>私も、旧天王中学校の既存プールがそのまま使えるのであれば、壊そうとは思いません。例えば、石田小と神前小にプールがあり、それを壊すとなれば4</p>

	<p>～5千万円は必要になると思います。そうすると、維持管理費がどれくらい必要か分かりませんが、プールは置いたままとし、それを使うという発想もあるのではないですか。神前まで行って使うのでも、B&amp;Gへ行って使うのでも構いません。せめて、プール整備の選択肢の1つとして考えてほしいと思うのですが、残念ながら皆さんの選択肢の中にはないのです。それが何となく、少し専門性が過ぎるという気がしています。</p>
教育委員	<p>もし、B&amp;Gプールに行くのであれば、そのB&amp;Gプールに行くのを羨ましがられるくらいの改修を行ってほしいです。</p> <p>学校にプールがなくてもB&amp;Gプールに行けるのだという、他の地域から見ても羨ましがられるようなものであれば、学校にプールがなくても、B&amp;Gプールに行っても良いように思います。</p>
教育委員	<p>温水プールにして、5月くらいから泳げるようにしてはどうですか。他の学校は6月からでないと泳げないが、B&amp;Gに行ったら5月から泳げるというのは。</p>
市長	<p>決してプールが不要だとは思っていません。特に統合小学校の場合は、あのような場所に立地するので、確かに移動の時間が掛かるし、基本的にはプールは作ろうと思っています。ただ、プールに対するのと同じような考え方が、他のところにもある様な気がしています。それが、教育委員会や学校と、地域とを近付き難くしているような気がするのです。プールは、安全なように作ります。</p> <p>それから、教育長が言われた英語教育の支援者といえ、どうすればいいのですか。</p>
教育長	<p>やはり、応募してもらって面接するしかありません。</p>
市長	<p>まずは、ボランティアのような形で募集したらどうですか。ボランティアとして参加してもらい、めどが付いたところで、報酬を出ようにしてはどうですか。初めから職業みたいな形で募集すると、いろいろな問題が生じてもいいけないので、そういう募集も良いと思います。</p>
教育委員	<p>学校支援ボランティアの登録において、何ができるかを書き込む欄があり、「英語」と書いてある人もいます。そのような人に声を掛けてもよいと思います。</p>
教育委員	<p>ただ、学校支援ボランティアの募集の仕方が、今一つ浸透していないところがあります。</p>
教育委員	<p>そうですね。知らない方が多いです。</p>
教育委員	<p>登録されていない方が多いです。</p>
市長	<p>ふるさと教育についてもそうですが、どこにどんな物があるかというのは、意外に知っているようで知りません。特定の人には知っているが、一般にはあまり知られてないことも多いと思います。そこで、データベース的なものを作る必要があるのではないかと思います。例えば、スクールバスにおいても、車両そのものの使用について国との協議は必要だと思いますが、スクールバスの運転手を登録制にすることも考えられると思います。自分たちの地域が持っている</p>

	<p>るものをもう一度点検する良い機会になるかもしれません。</p> <p>それでは、これまで聴かせていただいた中で、皆さんの気持ちは十分に分かりました。その中でも特に、これだけはというものを再度聞かせてください。重複しても構いません。</p>
教育委員	<p>文化財保護に関して、さぬき市の地域資源といえば、津田古墳群と富田茶臼山古墳、もう一つは遍路文化です。これからのさぬき市の発展を考えると、ここにお金を少しずつ計画的に入れていけば良いのかなと感じています。</p>
市長	<p>文化財の話ですね。</p>
教育委員	<p>重複して念押しするようですが、プールを作るか、ソフト面で防災の充実を図るかのいずれかではなく、是非とも両方をお願いします。</p>
市長	<p>統合小学校のプールは、今、実施設計の段階になっているので、できるだけ安全性に配慮したものにします。安全面の部分については、通常考えられるリスクを無くすことは考えています。ただ、どこに作ってもリスクはあります。通常考えられるリスクについての安全対策は、予算の中で対応していきます。</p>
教育委員	<p>学校というのは、地域の中の学校です。地域と学校というのは、離れられない関係であるにもかかわらず、地域の人が学校の中に入れられない状況にあるというのは問題です。その原因の一つとして、地域の方は学校に行って何かしたいけれど、どこが応援してくれるか、どこが助成金を出してくれるかという辺りで、悩んでいるのかなと思います。地域の方が学校に対して、こういうことがしたい、子どもを育てたいという何かがあれば、是非協力してほしいと思っています。</p>
教育委員	<p>どうしたらよいのかは全然分かりませんが、子どもたちが、やんちゃでも規格外でもよいので、夢に向かって進められるような子育てができるまちづくりにしたいと思っています。</p>
市長	<p>それが一番難しいですね。やんちゃでも良いと言っても、やんちゃな子は先生が困ると言います。その辺りの兼ね合いが難しいですね。昔の「やんちゃ」と今の「やんちゃ」は、私は少し違うと思います。最近の子どもと昔の子どもとの一番の違いは、昔のちょっとした「やんちゃ」というのは、自分より強い者に対する「やんちゃ」であり、力で自分を屈しさせようとすることに反発していたのです。だから、そのことを勉強していくと、逆に自分が人を助けるようになっていました。最近の「やんちゃ」は、自分よりも弱いものにしか「やんちゃ」しないのです。</p>
教育委員	<p>子育てがしやすい、子どもに優しいまちづくりになるようなお金の使い方をしていただきたいと思います。</p>
教育長	<p>就学前教育の見直しについて、今後の進め方に対し、少なくとも市の組織の中では、横のつながりを持って協議し、統一化できた就学前教育ができれば良いと考えています。</p> <p>もう1点は、学校支援ボランティアについて、現在、地域の方に協力いただき、非常に学校の中が安定しています。今年度から全5地区に展開することになり、更に次の手を打つときに、どういう手を打てば良いかについては、考え</p>

	てみたいと思います。その際、ボランティアだからと全ての費用をボランティア任せにするわけにはいかないのです、ある程度の材料費といった費用について、配慮をお願いします。
<b>市長</b>	<p>たくさんのことを言いましたが、気持ちは皆さんと変わらないと思っています。物事の基本というのは、自分が中心ではなくて、自分がしようとする相手方の立場に立てるかどうかではないでしょうか。そのことが、人間としての大きさや、人間としての質の高さを表すのだらうと思います。</p> <p>それぞれの立場で教育のことを考えるときに、先生のこと、もちろん大事ですが、私は、教育の中心は子どもだと思います。子どもの立場に立って、どういうことが良いのか。しかし、子どもが欲しがる物を全部与えるというのは、愛情ではなくて、違ったものだと思います。子どもを、本当に大事にして導いていくためにも、共に考えることの大切さを、この総合教育会議の中でも今後是非議論していきたいと思っています。</p> <p>最後に、時間が大幅に超過したことを謝罪して、本日の会を閉じたいと思います。</p> <p>どうも、ありがとうございました。</p>
<b>閉 会</b>	
<b>教育部長</b>	以上で、平成28年度第2回さぬき市総合教育会議を閉会します。